



読字 原田 鏡

No. 830

2017/ 5/25

日中友好新聞

発行所
日本中国友好協会
〒113-0033 東京都文京区
春日1-1-1807201室

日中友好協会
岡山支部
〒713-8256
岡山市東区3-8-30 514
TEL:086(272)-3016
郵便番号1100
01250-0-3835

日中友好協会
倉敷支部
〒713-8911
倉敷市遊島中央1-8-4
(宮地方)
TEL/FAX:086(445)-2711

日中友好協会岡山支部ホームページ
<http://rizhong.biz/>
メールアドレス
rizhong86@hotmail.co.jp



日中友好月間

日本中国友好協会の目的は、日中不再戦(資料1)です。岡山支部は、総会議案書で憲法改悪に反対し「憲法を守り生かそう」という声を国民の過半数にしましょう。」と明記してきました。2009年度から「日中不再戦は、憲法9条を生かす道」との立場で運動を進めてきました。

それだけに5月3日、安倍首相の「憲法9条に『自衛隊』を条文に加え、存在を明記する第3項を設ける、2020年の施行をめざす」との発言は、断じて許すことができません。

岡山支部は、太極拳、中国語講座、きりえ教室などの文化活動、最近では「理解は絆を強くする」のスローガンのもと中国百科検定などで対中感情の改善にとりくんでいきます。

今年、日中国交正常化45周年、盧溝橋事件80周年です。節目の年に開催される、第66回全国大会や、岡山支部総会を成功させ、憲法9条を守り抜き、日中両国民の友好連帯のために頑張り

◎第66回全国大会

6月3日(土)、4日(日)
東京都内で開催
岡山支部から曾田・丸山理事が参加
倉敷支部から太漏事務局長が参加

◎岡山支部総会

6月23日(金)14時～16時
岡西公民館で開催

◎倉敷支部総会

6月24日(土)午前10時半～
倉敷健康福祉プラザで開催

*なお、両支部とも支部共催で大西広先生の講演会(同封チラシ参照)を予定しています。

(資料1)

(目的)

第2条

この会は、日本政府の行為によつて中国への侵略戦争が起こされた歴史を教訓として、

日本と中国が再び戦うことがないよう、日本国民として平和と民主主義の立場に立つて、日中両国民の相互理解と友好を深め、平和5原則(1、領土・主権の相互尊重、2、相互不可侵、3、内政不干渉、4、平等互惠、5、平和共存)にもとづく両国関係の発展に寄与し、アジアと世界の平和に貢献することを目的とする。

第7回「孟子」を読む

離婁篇

弓田 盛樹

この篇の構成は、全体として一つにまとまっているというよりは、孟子の言行録といった趣があります。その中で、孟子の考える仁政とは何かを端的にまとめた箇所があるので紹介します。

孟子は、「桀と紂が天下を失ったのは、その民を失ったからだ。民を失うのは、民心を失ったからだ。天下を手にするには、民を得ることだ。民を得るには、民心を得ることだ。そのためには、民の望むことを行い、民が嫌がることはしないことだ」と述べます。

民衆の満足を得てこそ、天下人となることができ、そのためには、民衆の欲するところ、憎むところを見極めることが大切だということです。民衆の要求・欲求にかなった政治が仁政です。民のための政治を行うことの大切さを説いているのです。こうした孟子の主張はいたるところで語られています。この考えが孟子全体を通して説かれているといっても過言ではないくらい、孟子の政治思想の根幹です。

しかし、世間一般的には物事の善悪を図り、常に正しい選択をすることなどできないという、いわば必要悪のような考え方が主流を占めています。孟子は道徳の価値は認めても、自分には遠く及ばないと実践しない人物を自棄者と言います。ちなみに、道徳を無価値と蔑むものごとを自暴者といっています。今日の自暴自棄は孟子に由来します。

そして、孟子は仁の実践は誰にでもできることであるとして、「道は近いところにある。しかし、多くは遠くに求める。簡単なことから始めればいいのに、多くは難しいことから始めようとする。親を敬い、年長者に学ぶことから始めよ」と言います。家族主義を重んじる儒教にとって、道徳の実践が身近な日常生活にこそあるというのは重要な教説です。

同時に儒教においては礼が重要視されます。礼といえば、下位の者が上位の者に接する際の規律と考えられがちです。しかし、上位者にも上位者としてふさわしい立ち居振る舞いが厳しく求められるのが儒教です。

つまり、親は親として子に対して接することがなければいけないということになります。現代社会において、少年犯罪や問題のある子とされる子どもたちは家庭事情に何らかの困難があるというケースが往々にして見受けられます。家庭環境が荒んだものであれば子どもの生育にいい影響はありません。

天下(国家)の根本は家族・家庭であるという孟子の主張を、戦前の家父長制に基づいた家制度とストレートに結び付け考えるのではなく、子どもの発育と結び付けて考えることで現代的な解釈が可能となるはず。 つづく

中国語講座

”みんなで楽しく中国語”

主催: 日中友好協会倉敷支部

日本と中国は「一衣帯水」の隣国。「ニーハオ」と「こんにちは」を話せるとすぐコミュニケーションができると思います。日常の挨拶から様々な場面における中国語、そして、中国の風俗習慣や飲食文化体験など、みんなで楽しく学びましょう。

講師 廣本れい先生

場所 暮らし健康福祉プラザ

基本は301研修室(当日入口で確認の事)

時間 18時30分～20時

開講予定日 基本は第1・3水曜日

変更があります下記を確認してください。

6/7(水) 6/21(水) 7/5(水) 7/19(水)

月謝 1,500円 見学1回無料

お問い合わせ

〒712-8031

岡山県倉敷市福田町浦田2461-45

事務局長 太漏澄夫(たろう)

Tel・Fax 086-455-7800

携帯 090-7994-3067

E-mail nicchukurasaki@minos.ocn.ne.jp

中国帰国者問題写真と資料展③

今回の写真展を参観した人々の多くは、開拓団の歴史、中国帰国者の介護問題とともに、日本語教室で学ぶ受講生が書いた文章やきり絵などに注目していました。

岡山民報の記者は、親身に教えていただき感謝しています。もっと日本語をわかるようになりたい」と受講者の声を紹介しきれいな字で書かれた手紙や中国から取り寄せた光沢のある紙を使ったきり絵が目を引きました」と書いています。

ここでは、日本語教室の受講生が書いた文章の一部(高島教室)と参加者(芳田学習講座)の感想文を紹介します。

私のしたいこと・希望

(高島教室)

私は高島公民館で日本語を勉強しています。その先生たちはみんなボランティアです。とてもやさしい人だから、もう友達みたいに交流できて、とてもいい勉強の雰囲気です。私の娘はもうすぐ2年生になります。毎日私にいろいろな問題を出します。私は日本語の答えがなかなかみずかしいでした、そのためにこれから日本語を一生懸命勉強したいと思います。

大元千華

後楽園の広々している芝生、池、築山、回廊の庭園は私をひきつけます。美しい園景をたくさん撮って、パソコンで中国のきょうだいたちへ送りました。きょうだいたちは後楽園の風景はとても美しいと称賛しています。一度きょうだいたちに後楽園を見に来

てもらいたい。このことが私の一番の希望です。

益田桜子

日本語教室の展示を見た感想

今回は、各日本語教室が中国帰国者の授業、交流会、文化体験活動など風景が展示されていました。

皆はそれぞれのところからきて、日本語教室で集まって、日本語を勉強し、その上に、いろいろな交流会と文化活動に参加しています。日本語教室の勉強で日本語がだんだんうまくなって、日本語能力試験N3を取った人が何人もいました。私も今年の7月の日本語能力試験を頑張っているが、日本語が難しいので諦めようと思っていました。皆が努力する姿を見て、私も励まされ、これからもっと頑張る必要があると思いました。

交流会でみんなが自分の国

の楽器を弾いたり、自分の故郷の作文を読んだりしていました。私も実際参加した交流会の機会、自分の国の文化を伝承して、たくさんの方々ができたので、非常にいい経験でした。日本に来て日本語教室で日本語だけでなく、中国の良さを日本人に知らせて、日本の文化も学んで、親切にしてください。本当に心から感謝しています。

黒田

日本語学習講座は帰国者に

日本語学習の良い機会を提供

第10回「中国帰国者問題の歴史と現状」の展覧は、4月18日、20日、岡山市役所ロビーで開催されました。

展示会は5つの内容がそれぞれ展示されています。日中友好協会岡山支部は、中国残留日本人孤児・残留婦人及び家族の苦難の歴史を正しく理解させるため、たくさん

の考え、毎回の見学は新しい感じがありました。

特に、中国帰国者日本語学習講座を開催し、帰国者に日本語の勉強に良い機会を提



右から益田さんと黒田さん

第30回記念岡山きりえ展

2017 5/23(火)～28(日)

9:00～17:00(最終日は16:00まで)

岡山県天神山文化プラザ 2F 第4展示室

主催:岡山きりえの会

協賛:日中友好協会岡山支部

後援:日本きりえ協会 岡山市教育委員会



供しています。ここ数年それぞれの日本語教室の皆さんは終始変わらず、たゆまず頑張りぬく日本語学習をしています。みんなはまだ深く体得していないので、就職するのは難しい、病院へ行って診察を受けるのはもっと難しいです。

日本に来てから、多くのことは自分でできませんでしたが、そのためとても悩みを感じています。自分のことは自分でできるようにするために、数年前から芳田日本語学習講座に来ています。日本語の勉強は、毎週2回勉強しま

す。今まで風が吹いても、猛暑、寒い冬でも欠席することはありませんでした。

先生のおかげで日本語の勉強だけでなく、多くの知識を学びました。先生方は、私たちをいろいろな場所へ見学に連れて行ってくださいました。

日中友好に貢献した岡崎嘉平太先生記念館、児島の野崎旧住居、岡山城歴史文化遺産などを見学しました。日本歴史の理解を深めました。みんなに日本語をアツクさせるために、見学が終わってから、先生はみんなに感想を書かせます。とても興味深いです。

現状の見学を通じて、それぞれの日本語教室のみんなは、一生懸命勉強することができ、いろいろな活動に参加し、知識をおおくして、日本語のレベルが向上しています。

益田聖子

次回の新聞送付作業は6月1日(木)午後1時半から民主会館2階で行います。前回お手伝いくださった方です。

林田和 小曾内 竹内 竹内 坪井